

第 182 号 内容紹介

1 , 日本 AALA 声明「バンドン会議 70 周年にあたって」

力を優先する大国の横暴で平和の国際秩序が揺らぐ今、植民地支配から解放され独立して「歴史の主人公」になったアジア・アフリカのリーダーたちによる歴史的会議の訴えを思い起こす。

2 , J・サックス「ウクライナにおける恒久的な平和の交渉」

ロシアとウクライナは2022年4月にイスタンブールで和平合意に署名する寸前までこぎ着けていた。そのプロセスの枠組みは、恒久的な平和を確立する方法について現在もなお基礎を提供している。

3 , J・アクーニャ「ジェンダーの視点が核禁止の力に」

核兵器禁止条約第三回締約国会議でのキリバスの被爆者の訴え。核兵器禁止条約は、ジェンダーの影響と女性の参加を認めることで扉を開いた、と参加者の肺腑をえぐった。

4 , BAFP「西側帝国主義に迎合する欧米の左派」

「ウクライナに降伏を求めるのは受け入れがたい」と「自己決定権の尊重」をいって支援を続ける欧米「左派」。その本質は「西側帝国主義への迎合」でしかないとアメリカの黒人平和団体が批判。

5 , 新藤通弘「ベネズエラの何が真実で課題なのか」

マドゥーロ大統領が3期目就任した現地取材の報告

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます ([aala_news の編集日記 \(livedoo na 愛用紹介 r.jp\)](#))

